令和８年６月 25 日

令和８年度 大阪府立福井高等学校 第１回学校運営協議会　議事録

１　会長あいさつ

２　校長あいさつ

３　運営協議会委員・事務局員紹介

４　事務局より報告

○学校運営協議会委員
●学校運営協議会事務局

資料１学校経営計画及び学校評価

●キャリア教育について１年生から強化する。外部機関とも連携を行い生徒の進路を支援指導していく。

資料２広報活動方針

●ホームページのリニューアルについて検討している。ホームページやインスタグラムともに発信していく。中学校とさらにコミュニケーションをとっていきたい。

資料３新入生アンケート速報

●昨年度の広報方針であった生徒が福井高校を知り入学したいと思ってもらうことを大切に広報活動を行った。１年生の状況と本校の魅力と受験決定時期の説明。

資料４入学者選抜・退学者数報告

●退学率と転学率の説明。切れめのない指導を行っていく。

資料５生徒指導の状況・部活動加入状況

●納得のできる生徒指導、安心安全の学校をめざす。学校行事の活性化に取り組んでいる。部活動加入状況の説明。

資料６進路実績と進路希望調査

●指定校制推薦以外にも幅広く受験している。今年度も進路決定に向けて早くから準備を行っている。

資料７多文化人権広報部（状況と取り組み・人権方針）

●外国にルーツを持つ生徒の状況。出前授業に取り組んでいる。人権ホームルームの活動と予定。

●在留資格の状況について

●系列の見直しについて

生徒のニーズに合わせた選択科目を設定する。どの生徒も系列にとらわれず、生徒の興味関心に合わせて柔軟に科目を選択できるように、３つの系列に発展的再編を考えている。

●広報活動費について

５　質疑応答

○学校運営協議会委員
●学校運営協議会事務局

○全国的に学校の縮小期にきている。地域の高校をどう作るのか。なぜ、この地域で福井高校が必要なのか。福井高校はさまざまな連携がある学校。クラスの関係作りが学習意欲につながっていく。福井高校の総合学科について、柔軟になること、外国にルーツを持つ生徒のためになるというところ、とても良いと感じる。進路だけではなく、こんな人間になりたいという合言葉になればいいのでは。

●生徒の様子、コミュニケーションが上手に取れない生徒は増えており、他者理解ができるように支援指導している。短期的ではなく、中長期的な指導を継続していきたい。これからも生徒に協力して支援をしていく。

●福井高校の根本を見直していきたい。多様性と選択。「やり抜こうとする姿勢」、「自ら選択する力」、「他者を認める心」という３つキーワードを教育課程とリンクさせて養っていけるようにする。

○通信制を選ぶ生徒が多い。毎日行くことがとても大切な中で、通信制よりも、生活リズムを整えながら、将来仕事をするうえで毎日通うという点で、福井高校のような学校の選択をする方が良い面もあるのでは。通信制が合う生徒もいるが、中学生のときから丁寧な進路指導が大切ではないか。

令和８年度 大阪府立福井高等学校　学校運営協議会委員（敬称略）

番号	名　前	職　名
1	富永　誠	大阪女学院大学・大阪女学院短期大学 特任教授・アドミッションセンターアドバイザー
2	平野　智之	追手門学院大学　共通教育機構 特任教授
3	氏家　友輔	「福井高校を育てる会」会長 茨木市立豊川中学校長
4	塩田　寛	福井地区自治振興会
5	福田　正幸	茨木市南保健福祉センター コミュニティソーシャルワーカー
6	田中　道子	本校ＰＴＡ会長

事務局

番号	名　前	校務分掌等
1	村林　隆志	校長
2	梅本　修平	事務長
3	曽根　康介	教頭
4	水谷　雅哉	教務主任
5	村上　雄哉	生徒指導部長
6	川端　直子	進路指導部長
7	岸本　裕美	多文化人権広報部長
8	安原　弘起	地域連携広報担当